

第3 地域別離島振興事業の実績

(平成25年度～令和4年度)

第3 地域別離島振興事業

(平成25～令和4年度)

1 長島地域

(1) 国土保全施設の整備

ア 砂防

獅子島は、急峻な山を中心に急流で短小な溪流が多く存在し、人家は、これら溪流の開口部のわずかな平地部に点在しており、降雨のたびごとに土石流等の土砂災害の危険にさらされている。

このため、片側川、重崎川、野田川等で通常砂防事業により砂防堰堤工、溪流保全工等を実施し、土砂災害の未然防止に努めた。

イ 治山

本地域は、地形が極めて急峻で、また、急流で短小な溪流が多く存在している。

このため、山地治山事業等を実施し、山地災害の未然防止と水資源の確保に努めている。

(2) 交通基盤の整備

ア 道路

獅子島には、国道、県道はなく、町道、農道及び林道を生活道路として整備している。

町道については、獅子島架橋の実現を目指し、島内を一周する林道を、幣串集落、湯ノ口集落、御所ノ浦集落、片側集落の4集落を繋ぐ重要路線として、令和4年3月に1級町道に認定している。

イ 港湾

本地域の港湾は、県管理港湾として獅子島に片側港があり、また、町管理港湾として、御所浦、湯ノ口、立石、柏栗の4地区からなる獅子島港がある。

片側港は、獅子島の中心港であり、平成8年度までの改修、局改事業により定期船接岸のための物揚場、可動橋等を整備し終了した。また、令和4年度までに物揚場や臨港道路の老朽化対策を実施しており、現在は、施設の維持補修等を進めている。

獅子島港は、漁船対策として改修事業により、平成29年度に湯ノ口地区の物揚場、平成30年度に立石地区の浮棧橋の整備が完了し、令和元年には、柏栗地区の防波堤の改良が完了している。現在は、施設の維持補修等を進めている。

主な港湾の整備状況

(単位：m)

島名	港湾別	種別 管理者	平成24年度末						令和4年度末					
			岸壁		物揚場		防波堤	接岸能力 及びバース数	岸壁		物揚場		防波堤	接岸能力 及びバース数
			水深	延長	水深	延長			水深	延長	水深	延長		
獅子島	片側	地方 県	-4.5	60	-4.0	119	340	700 D/W 1B	-4.5	60	-2.0	209	340	700 D/W 1B

(3) 産業基盤の整備

ア 漁港

静穏海域が多いことや水温が高いなど恵まれた自然条件下にあるため、養殖業が盛んであるほか、ごち網漁業等の漁船漁業が行われている。

幣串漁港は、獅子島におけるブリ養殖の拠点港及び定期船の寄港港として利用されており、平成26年度に就労環境の改善を図る浮棧橋を整備し、港内静穏度の向上を図る防波堤の整備を令和4年度までに完了した。

漁港施設の老朽化とともに、更新を必要とする施設が増加していることから、幣串漁港の防波堤等の保全工事を実施し、平成30年度までに完了した。

また、機能診断により物揚場の耐震性能が不足していることが判明したため、令和2年度から物揚場の改良工事を実施している。

主要漁港の整備状況 (単位：m, m²)

漁港名	管理者	平成24年度末				令和4年度末			
		けい留施設		泊地	防波堤	けい留施設		泊地	防波堤
		水深	延長			水深	延長		
幣串	県	+1.5	250	11,807	723.6	+1.5	0	11,807	813.6
		-1.5	60			-1.5	310		
		-2.0	520			-2.0	520		
		-3.0	222			-3.0	222		
		-4.0	120			-4.0	120		

イ 漁場

本地域は、マダイやアジなどを対象とするごち網漁業や一本釣漁業等が営まれているが、近年、資源の減少等で漁家経営は厳しい状況が継続している。

このため、水産資源や漁獲量の維持・増大を図るため、沿岸域に828空m³の魚礁を設置し、増殖場の整備を実施した。

また、平成30年度から養殖場の静穏度向上を図るため、浮消波堤の整備を推進している。

ウ 農業農村整備

農業については、獅子島で甘夏みかんを中心とする果実類の生産や温暖な気候を利用した早出しばれいしょの生産が行われているが、農家の経営規模は零細である。

災害を未然に防止するための土砂崩壊防止事業（H26～H28）を実施した。

エ 林道

本地域の林道は、多面的機能を有する森林の適切な整備及び保全はもとより、地域住民の通行や物資の運搬等に必要地域道路網の一つとして重要役割を担っている。

このため、既設林道の機能向上を図るため、法面改良事業等を実施した。

(4) 生活環境施設の整備

ア 簡易水道

本地域では、施設の老朽化に伴う漏水等を解消するため、令和3年度から獅子島地区の老朽施設の更新を進めている。

(5) 離島振興事業による投資実績（一括計上事業）（平成25年度～令和4年度）（単位：千円）

区 分	事業費	国 費	県 費	市町村費	その他
砂 防	586,164	281,494	304,670	0	0
治 山	362,431	181,215	181,216	0	0
港 湾 海 岸	12,848	7,040	858	4,950	0
漁 港 海 岸	12,068	6,582	5,486	0	0
港 湾	3,291	1,069	2,222	0	0
水産基盤整備	3,022,034	2,003,305	913,655	105,074	0
農業農村整備	82,262	53,990	20,295	7,977	0
林 道	188,899	90,169	98,080	650	0
廃棄物処理	15,816	7,105	3,826	4,885	0
簡易水道	113,050	52,665	0	60,385	0
合 計	4,398,863	2,684,634	1,530,308	183,921	0

(6) 離島活性化交付金事業

本地域における事業の実施状況は、戦略産品の海上輸送費支援や定住促進のための空き家改修の定住促進事業16件、観光・交流拡大のための先進地事例調査・研究の交流促進事業3件、災害時の再生可能エネルギー調査等の安全安心向上事業2件となっている。

実績額は次のとおりである。

離島活性化交付金事業による実績額（平成25年度～令和4年度）（単位：千円）

区 分	事業費	国 費	市町村費等
定 住 促 進 事 業	66,492	24,243	42,249
交 流 促 進 事 業	1,969	984	985
安 全 安 心 向 上 事 業	3,929	1,964	1,965
合 計	72,390	27,191	45,199

(7) 特定離島ふるさとおこし推進事業

本地域における事業の実施状況は、林道整備や共同利用農業施設整備、ヒラメ放流等の産業の振興41件、道路整備や港湾施設整備等の生活基盤の整備22件、特産品宣伝対策や交流イベント等のみんなの参加・島づくり対策22件となっている。

実績額は次のとおりである。

特定離島ふるさとおこし推進事業による実績額（平成25年度～令和4年度）（単位：千円）

区 分	事業費	県 費	市町村費	そ の 他
産 業 の 振 興	506,735	347,693	121,120	37,922
生 活 基 盤 の 整 備	198,034	157,323	40,711	0
みんなの参加・島づくり対策	66,847	46,167	19,792	888
合 計	771,616	551,183	181,623	38,810

2 桂島地域

(1) 国土保全施設の整備

ア 治山

本地域は、平坦地がない急峻な地形であるため、山地災害の未然防止を図ることが必要である。
このため、山地治山事業を実施している。

イ 海岸保全

桂島漁港では、海岸保全施設の老朽化が見られることから、長寿命化計画を策定した。

(2) 産業基盤の整備

ア 漁港

桂島漁港では、漁港施設の老朽化とともに更新を必要とする施設が増加していくことから、計画的な長寿命化対策に必要な機能保全計画を策定した。

(3) 離島振興事業による投資実績（一括計上事業）（平成25年度～令和4年度）（単位：千円）

区 分	事業費	国 費	県 費	市町村費	その他
治 山	29,730	14,865	14,865	0	0
漁 港 海 岸	2,392	1,315	0	1,077	0
水産基盤整備	4,560	4,503	57	0	0
合 計	36,682	20,683	14,922	1,077	0

(4) 離島活性化交付金事業

本地域における事業の実施状況は、防災・減災等の対策に関する計画策定等の安全安心向上事業1件となっている。

実績額は次のとおりである。

離島活性化交付金事業による実績額（平成25年度～令和4年度）（単位：千円）

区 分	事業費	国 費	市町村費等
安 全 安 心 向 上 事 業	1,281	641	640
合 計	1,281	641	640

(5) 特定離島ふるさとおこし推進事業

本地域における事業の実施状況は、浮棧橋の設置の産業の振興1件となっている。

実績額は次のとおりである。

特定離島ふるさとおこし推進事業による実績額（平成25年度～令和4年度）（単位：千円）

区 分	事業費	県 費	市町村費	そ の 他
産 業 の 振 興	28,000	22,400	5,600	0
合 計	28,000	22,400	5,600	0

3 甑島地域

(1) 国土保全施設の整備

ア 河川

本地域の2級河川は、上甑島に中津川と小島川、下甑島に長川と浜田川の4河川があるが、いずれも流路が短く勾配が急なため、短時間に多量の雨が降れば急激に増水氾濫し、度々人家・耕地等に大規模な被害をもたらしてきたため、緊急性の高い箇所から河川改修事業を実施してきた。

2級河川については、平成4年度までに改修を完了している。

市町村が管理する準用河川は、堂ノ元川（里町）、江石川（上甑町）等があり、江石川は平成8年度、堂ノ元川は平成11年度に改修を完了している。

イ 砂防

本地域の山地部は、かなり急峻で、河川は短く、また平地も少ないので土砂災害が発生しやすいため砂防事業が必要である。

そのため、桜ヶ迫谷での通常砂防事業や古町川、松崎谷、宮田谷等で総合流域防災事業（砂防）により堰堤工、溪流保全工等を実施し、土砂災害の未然防止に努めた。

ウ 治山

本地域は地形が急峻であるため、山地災害の未然防止を図ることが必要である。

このため、山地治山事業を実施している。

エ 海岸保全

本地域は、特に山が海岸線に迫っているため、ほとんどの集落、耕地は、海岸沿いに点在している。

また、外海に位置し、台風常襲地帯であり、加えて季節風による波浪も激しいことから、海岸保全事業の必要性が高い。

このため、背後地の保全目的に沿って、港湾海岸事業、漁港海岸保全事業を実施している。

港湾海岸事業では、里港海岸において、海岸堤防等老朽化対策緊急事業により、排水機場（改良）の整備を平成30年度に完了し、令和3年度からは堤防等の整備を行っている。

漁港海岸保全事業では8漁港海岸において海岸保全施設の長寿命化計画を策定し、平成30年度から手打漁港海岸の離岸堤の長寿命化対策を推進している。また、令和3年度までに中甑漁港海岸の護岸の長寿命化対策を完了した。

(2) 交通基盤の整備

ア 道路

本地域は、上甕島の一般県道桑之浦里港線、上甕島と中甕島及び下甕島を結ぶ一般県道鹿島上甕線、下甕島の一般県道手打藺牟田港線の3路線で南北に縦断し、上甕島北部を横断する一般県道瀬上里線、及び下甕島の西岸を走る一般県道長浜手打港線とともに道路網を形成している。

県道については、これまでの整備の結果、改良率は90.9%となっており、これは県全体の県道の改良率83.0%を上回っているが、下甕島の長浜手打港線や上甕島の瀬上里線については未改良区間が残っている。上甕島の桑之浦里港線の一部（里港～中甕漁港間）と上甕島から下甕島に至る鹿島上甕線及び下甕島の手打藺牟田港線の3路線については甕島を縦貫する道路として位置づけている路線であり、下甕島と中甕島を結ぶ藺牟田瀬戸架橋については、平成18年度に事業化し、令和2年8月に開通したところである。

また、手打藺牟田港線については急カーブや幅員狭小箇所等があるため、整備を進めているところであり、その他の路線についても、甕島においては幹線となる道路網を形成しているため計画的な整備を進めていくこととしている。

市道については、主な整備路線として、1級市道中甕江石線、その他市道鳥ノ巣線等がある。住民に密接する生活道路として整備を進め、隘路区間の解消を図った。

道路現況（令和3年度末）

（単位：m，％）

区 分	実延長A	規格改良 済延長B	うち 5.5m以上C	改良率 B/A	5.5m以上 改良率C/A	舗装延長D	舗装率 D/A
一般県道	70,559	64,142	55,863	90.9	79.1	70,559	100.0
市町村道	143,197	75,748	17,380	52.8	12.1	137,674	96.1
道 路 計	213,756	139,890	73,243	65.4	34.2	208,233	97.4

出典：令和4年度道路現況調書(令和4年4月1日現在)

イ 港湾

甕島地域の港湾は、県管理港湾として上甕島に里港、下甕島に長浜港の2港があり、市管理港湾が上甕島に江石港、桑之浦港の2港がある。

里港は、甕島の玄関港として平成19年度まで改修事業を実施し、東地区において、防波堤の改良、物揚場、泊地を整備し、また、干満の潮位差が大きく陸揚作業が危険であるため、浮棧橋を整備した。現在は、可動橋等の施設の老朽化対策等を進めている。

長浜港は、下甕島の定期船寄港港であり、島内の円滑な物流を図るため、臨港道路を整備した。現在は、夜間停泊基地港として更に船舶の安全な航行の為、防波堤の改良や施設の老朽化対策等を進めている。

主な港湾の整備状況

(単位：m)

島名	港湾名	種別 管理者	平成24年度末						令和4年度末					
			岸壁		物揚場		防波堤	接岸能力及び バース数	岸壁		物揚場		防波堤	接岸能力及び バース数
			水深	延長	水深	延長			水深	延長	水深	延長		
上甕島	里	地方 県	-5.5	90	-3.5	180	1,259	2000D/W	-5.5	90	-3.5	180	1,259	2000D/W
			-4.5	135	-3.0	294		1B	-4.5	135	-3.0	294		1B
					-2.0	360		700G/T			-2.0	360		700G/T
下甕島	長浜	地方 県					1,183	2000D/W				1,183	2000D/W	
								1B						1B
			-5.5	90	-3.5	55		700D/W	-5.5	90	-3.5		55	700D/W
			-4.5	155	-2.0	444		1B	-4.5	155	-2.0		444	1B
							700G/T						700G/T	
							1B						1B	

(3) 産業基盤の整備

ア 草地開発等

本地域は各島とも地形が急峻で耕地が点在し、台風や冬場の強い季節風の影響を受けやすい条件のなかで、肉用牛や野菜等の経営の他は、さつまいもを組み合わせた自給的な農業経営が行われており、また、気候が温暖で牧草の生育に適し、肉用牛生産が定着している。

平成25年度に、草地開発整備事業（草地林地型）を実施し、草地造成や隔障物等を整備し、自給飼料基盤確保による肉用牛の振興を図った。

イ 造林

本地域の森林面積9,643haのうち、そのほとんどは天然広葉樹林である。

これまでに、複層林改良を実施し、地域内森林の水源かん養や山地災害防止等の機能の向上が図られた。

ウ 漁港

甕島周辺海域は、県内でも有数の好漁場を有していることから、水産業が基幹産業となっており、今後とも水産業に依存するところが非常に大きい。

本地域には、上甕島に中甕漁港（4種）、里漁港・小島漁港（いずれも1種）、中甕島に平良漁港（2種）、下甕島に手打漁港（4種）、藺牟田漁港（2種）、青瀬・芦浜・片野浦・瀬々野浦漁港（いずれも1種）の10漁港があり、漁業の拠点として、また、甕島近海で操業中の漁船の避難港として、あるいは定期船寄港港としてそれぞれ重要な役割を果たしており、これらの漁港の積極的な整備を図ってきた。

中甕漁港は、甕島北側の避難港及び定期貨物船の寄港港として利用されており、安全性の高い避難港としての機能充実や蓄養漁業に対応する静穏水域を確保する防波堤整備を平成27年度までに完了し、平成29年度には就労環境の改善を図る浮棧橋の整備を行った。

藺牟田漁港は、沿岸漁業の拠点港及び定期船の寄港港として利用されており、臨港道路の拡幅や波除堤の整備について令和3年度までに完了した。

漁港施設の老朽化とともに、更新を必要とする施設が増加していることから、中甕漁港ほか8漁港で防波堤や岸壁等の保全工事を実施しており、施設の長寿命化対策を推進している。

主要漁港の整備状況

(単位：m, m²)

漁港名	管理者	平成 24 年度 末				令和 4 年度 末			
		けい留施設		泊 地	防波堤	けい留施設		泊 地	防波堤
		水深	延長			水深	延長		
小 島	薩摩川内市 (上甕町)	-1.0	55	—	339.4	-1.0	55	—	130
		-2.0	130			-2.0	130		
中 甕	県	-2.0	440	91,351	841.3	-2.0	440	110,632	910
		-3.0	360			-3.0	360		
		-4.5	80			-4.5	80		
平 良	〃	-0.5	57	15,582	494	-0.5	57	82,052	494
		-1.5	120			-1.5	120		
		-2.0	240			-2.0	240		
		-3.0	220			-3.0	209.6		
		-4.0	70			-4.0	70		
		-4.5	160			-4.5	160		
芦 浜	薩摩川内市 (下甕町)	-2.0	75	2,413	227	-2.0	75	2,413	227
青 瀬	〃	-2.0	165	5,619	612.5	-2.0	165	5,619	612.5
		-3.0	95			-3.0	95		
瀬々野浦	〃	-2.0	159.5	4,621	355.5	-2.0	159.5	4,621	355.5
片野浦	〃	-2.0	180	11,389	340.9	-2.0	180	11,389	340.9
手 打	県	-1.0	385	39,350	1021.3	-1.0	385	94,110	1021.3
		-2.0	271			-2.0	271		
		-3.0	171			-3.0	171		
		-4.5	80.2			-4.5	80.2		
蘭牟田	〃	-1.0	32	9,125	1,481	±0.0	32	9,0313	1,551
		-1.5	150			-1.5	150		
		-2.0	230.3			-2.0	280.3		
		3.0	330			-3.0	330		
		-4.0	50			-4.0	50		
		-4.5	80			-4.5	80		

エ 漁場

本地域は対馬暖流と沿岸水との混合水帯を形成しており、ブリ、アジ等を対象とした定置網漁業をはじめ、キビナゴ流し刺網漁業や一本釣等の漁業が営まれているが、近年、資源の減少等で漁家経営は厳しい状況が継続している。

このため、水産資源や漁獲量の維持・増大を図るため、沿岸域に828 空m³の魚礁を設置し増殖場の整備するとともに、カツオやマグロなど回遊性魚類を対象とする浮魚礁2基を回収し、2基を設置した。

(4) 生活環境施設の整備

ア 簡易水道

本地域では、簡易水道事業の統合に併せ、施設の老朽化に伴う漏水等を解消するため、平成26年度から平成27年度に瀬々野浦地区、平成26年度から平成29年度に鹿島地区の老朽施設の更新を行った。

平成30年度からは下甕地区において、老朽施設の更新を進めている。

イ 下水道

快適な生活環境の確保や公共用水域の水質保全を図るため、上甕町において平成8年度より特定環境保全公共下水道事業に着手。処理場建設・管渠整備を効率的かつ計画的に行い、平成12年度終末処理場（中甕・中野浄化センター）を供用開始し、平成15年度に事業完了した。また、下甕町の長浜地区では、平成29年度から特定環境保全公共下水道事業に着手した。

	処理区域人口 (人)	整備面積 (ha)	備 考
中甕・中野全体計画	760	26.0	
長 浜 全 体 計 画	570	15.0	

(5) 離島振興事業による投資実績（一括計上事業）（平成25年度～令和4年度）

（単位：千円）

区 分	事 業 費	国 費	県 費	市町村費	そ の 他
河 川	691,627	325,938	365,689	0	0
砂 防	819,096	404,083	415,013	0	0
治 山	305,507	152,754	152,753	0	0
港 湾 海 岸	206,907	111,197	78,133	17,577	0
漁 港 海 岸	590,626	323,682	213,531	53,413	0
道 路	27,454,471	17,575,382	9,699,352	179,737	0
港 湾	1,281,986	819,717	405,806	56,463	0
水産基盤整備	5,593,725	4,140,220	1,313,024	140,481	0
農業農村整備	55,242	37,788	10,258	0	7,196
造 林	2,645	793	265	1,587	0
下 水 道	1,031,008	541,604	0	489,404	0
廃棄物処理	5,897	4,239	551	1,107	0
簡 易 水 道	235,870	117,935	0	117,935	0
住 宅	106,949	45,569	0	61,380	0
合 計	38,381,556	24,600,901	12,654,375	1,119,084	7,196

(6) 離島活性化交付金事業

本地域における事業の実施状況は、戦略産品の海上輸送費支援や漁協の加工施設の整備等の定住促進事業18件、甕島ツーリズムの推進や観光PRの推進等の交流促進事業13件、避難道路の整備の安全安心向上事業1件となっている。

実績額は次のとおりである。

離島活性化交付金事業による実績額（平成25年度～令和4年度）（単位：千円）

区 分	事 業 費	国 費	市町村費等
定 住 促 進 事 業	212,135	93,005	119,130
交 流 促 進 事 業	174,336	86,632	87,704
安 全 安 心 向 上 事 業	14,788	7,393	7,395
合 計	401,259	187,030	214,229

(7) 特定離島ふるさとおこし推進事業

本地域における特定離島ふるさとおこし推進事業の実施状況は、恐竜化石展示室整備、県有牛貸付、林道整備、アワビ稚貝放流、公共用観光施設整備等の産業の振興62件、飲用水施設整備、消防施設整備、教育環境施設整備、医療機器整備、水路整備等の生活基盤の整備66件、交流促進、地域情報発信等の観光物産宣伝対策や、トンボロ芸術村推進事業等のふれあい交流事業、離島留学（ウミネコ留学）等のみんなの参加・島づくり対策53件となっている。

実績額は次のとおりである。

特定離島ふるさとおこし推進事業による実績額（平成25年度～令和4年度）（単位：千円）

区 分	事 業 費	県 費	市町村費	そ の 他
産 業 の 振 興	1,118,082	855,175	258,139	4,768
生 活 基 盤 の 整 備	1,260,487	996,592	262,109	1,786
みんなの参加・島づくり対策	270,669	189,423	81,226	20
合 計	2,649,238	2,041,190	601,474	6,574

4 新島地域

本地域において、平成25年度以降、離島振興事業（一括計上）の実績はない。

5 種子島地域

(1) 国土保全施設の整備

ア 河川

本地域の2級河川は、郡川、鹿鳴川、向井川、阿嶽川、湊川等13河川がある。これらの河川はいずれも流路が短く、短時間に多量の雨が降れば急激に増水氾濫し、度々人家・耕地等に大規模な被害をもたらしてきた。このため、緊急性の高い箇所から逐次、河川改修事業を実施し、災害防止に努めている。

郡川は平成7年度、鹿鳴川は平成10年度、川脇川は平成13年度までに改修を完了しており、現在、甲女川、湊川、古川川において、改修事業を実施中である。

湊川の中流部については平成13年度までに完了し、湊川の上流部は平成13年度から改修事業を実施中である。また、甲女川は平成4年度から改修事業を実施中である。

市町村が管理する準用河川は焼野川（南種子町）、浜川（中種子町）等があり、焼野川は平成13年度、浜川は平成21年度に改修を完了している。

イ 砂防

種子島の中部から南部にかけては、砂岩、泥岩からなる段丘台地が開けており、この台地から数本の河川が下り、海岸近くにはかなりの平野を造りあげている。これらの地区においては、河川の蛇行が大きく、破壊しやすい土質も加わって、一度に多量の降雨に見舞われると、台地からの土砂流出等による災害が発生しやすく被害も大きい。

このため、災害を未然に防止し、人家耕地等の保全を図るため、御牧の小川等での通常砂防事業や田代の小川等での総合流域防災事業（砂防）により堰堤工、溪流保全工等を、また河内地区においては地すべり対策事業により集水井工やアンカー工等を実施し、土砂災害の未然防止に努めた。

ウ 治山

本地域は台風の常襲地帯であることや冬季の季節風時の波浪も激しいことから、海岸線における防災林の造成及び山地治山事業等を実施している。

エ 海岸保全

本地域は、外海に位置し、台風常襲地帯であり、また季節風による波浪も激しいことから、海岸事業の必要性が高い。

このため、背後地の保全目的に沿った漁港海岸保全事業で、能野漁港ほか2漁港の海岸保全施設の長寿命化計画を策定している。

また、島間海岸において、高潮対策事業により離岸堤を整備中である。

(2) 交通基盤の整備

ア 道路

本地域は、西之表港から中種子町野間を経て南種子町島間港まで種子島を南北に縦断する主要幹線道路の国道58号や、新種子島空港と重要港湾西之表港とを結ぶ主要地方道野間十三番西之表線、島の東岸を走る西之表南種子線の主要地方道の2路線、野間島間港線等の一般県道7路線により道路網を形成している。

国道については、これまでの整備の結果、改良率は100.0%となっている。

県道については、これまでの整備の結果、改良率は96.8%となっており県全体の県道の改良率82.4%を上回っているが、野間島間港線や国上安納線等では未改良区間が残っており、西之表南種子線については急カーブや幅員狭小箇所等があるため、整備を進めているところである。その他の路線についても、種子島においては幹線となる道路網を形成しているため、計画的な整備を進めていくこととしている。

また、市町道については、主な整備路線として、1級市道安城平松線、2級市道西町上之原線、1級町道広野中之町線、2級町道宇都浦線、2級町道堂中野線等がある。住民に密接する生活路線として整備を進め、隘路区間の解消を図っている。

道路現況（令和3年度末）

（単位：m，％）

区 分	実延長 A	規格改良 済延長 B	うち 5.5m以上 C	改良率B/A	5.5m以上 改良率C/A	舗装延長 D	舗装率 D/A
一般国道	48,914	48,914	48,914	100.0	100.0	48,914	100.0
主要地方道	108,089	104,400	96,775	96.5	89.5	108,089	100.0
一般県道	66,382	64,645	59,405	97.3	89.4	66,382	100.0
県道計	174,471	169,045	156,180	96.8	89.5	174,471	100.0
国県道計	223,385	217,959	205,094	97.5	91.8	223,385	100.0
市町村道	815,822	693,165	288,385	84.9	35.3	786,380	90.3
道路計	1,039,207	911,124	493,479	87.6	47.4	1,009,765	97.1

出典：令和4年度道路現況調査（令和4年4月1日現在）

イ 街路

良好・快適な都市環境を確保するため、都市の骨格をなす基幹施設である街路の整備に努めてきた結果、令和3年度末で整備率が92.4%となっている。

ウ 港湾

本地域の港湾は、重要港湾として西之表港、地方港湾として田之脇港、浜津脇港、島間港の県管理港湾4港のほか、種子島に伊関港、増田港、田尻港等13港、馬毛島に椎ノ木港等3港の市町村管理港湾がある。

種子島の玄関港である西之表港は、昭和28年度に改修事業に着手し、昭和35年7月に重要港湾に指定された。西之表港港湾計画に基づき、熊毛地域の人流・物流の拠点港として賑わいと潤いのある空間づくりを図るため防波堤改良、岸壁等の整備を進めており、平成20年3月に暫定-7.5mとして供用開始した岸壁(-9.0m)は、より安全な接岸を可能とするための延伸工事（水深9m、延伸260m）が平成25年に完了した。現在は、防波堤改良や岸壁等の老朽化対策を進めている。また、令和2年度に港湾計画の変更を行い、洲之崎地区において大規模地震発生時における海上からの緊急物資輸送に対応するため、耐震強化岸壁の整備を進めることとしており、令和3年度から事業着手している。

田之脇港は、種子島の東海岸に位置し、昭和50年度から改修事業を進め、平成10年度までに岸壁、物揚場、船揚場等が完成し、その後、平成12年度までに防砂堤等の外郭施設を整備し終了した。現在は、船舶の安全性向上を図るため、防砂堤の整備を進めている。

浜津脇港は、種子島のほぼ中央部に位置し、昭和34年度から改修事業を進めており、平成20年度までに防波堤等の外郭施設等を整備し終了した。

島間港は、種子島南部に位置し、昭和31年度から改修事業を行い、屋久島とを結ぶ定期船の寄港港として、また、建設資材、生活雑貨等の搬出入港として防波堤、岸壁、物揚場、道路、船揚場等の整備を進めてきた。また、種子島宇宙センターのロケット機材搬入港としても重要な役割を果たしており、港内静穏度向上のため、防波堤(西)の整備を行い令和2年度に完了した。現在は、航路への砂の堆積を防ぐため、防砂堤の改良を進めている。

市町村管理港湾については、田尻港で改修事業にて防波堤の整備を実施し、平成16年度に終了した。

主な港湾の整備状況

(単位：m)

港湾名	種別 管理者	平成24年度末						令和4年度末					
		岸壁		物揚場		防波堤	接岸能力及び バース数	岸壁		物揚場		防波堤	接岸能力及び バース数
		水深	延長	水深	延長			水深	延長	水深	延長		
西之表	重要 県	-9.0	180	-4.0	270	2,914	10,000 G/T (暫定) 1B 5,000 D/W 1B 2,000 D/W 5B	-9.0	260	-4.0	270	2,914	10,000 G/T (暫定) 1B 5,000 D/W 1B 2,000 D/W 5B
		-7.5	130	-3.0	172			-7.5	130	-3.0	172		
		-5.5	500	-2.0	657			-5.5	500	-2.0	657		
田之脇	地方 県	-5.5	90	-2.0	170	530	2,000D/W 1B	-5.5	90	-2.0	170	530	2,000D/W 1B
浜津脇		-5.5	90	-2.0	120	1,130	2,000D/W 1B	-5.5	90	-2.0	120	1,130	2,000D/W 1B
島間		-7.5	220	-4.0	100	1,002	10,000G/T 1B 2,000G/T 2B 2,000D/W 2B	-7.5	220	-4.0	100	1,082	10,000G/T 1B 2,000G/T 2B 2,000D/W 2B
	-5.5	380	-2.0	130	-5.5			380	-2.0	130			

エ 空港

種子島空港は、旧空港が昭和37年7月に滑走路1,100mで供用開始し、その後、滑走路の延長やエプロンの拡張等がなされ、1,500mの滑走路を有する空港として利用されてきたが、平成18年3月にジェット機の就航可能な2,000mの滑走路を有する新空港として開港した。令和3年度からは、平成31年4月の航空法施行規則の改正に伴う滑走路端安全区域の整備を進めている。

現在、種子島～鹿児島に1日4往復、期間限定で種子島～大阪便が運航されるほか、チャーター便によるジェット機の利用がある。

(3) 産業基盤の整備

ア 農業農村整備

本地域は温暖な気候と平坦な畑地に恵まれ、さとうきび、さつまいも等の畑作物、肉用牛生産、酪農等の畜産に加え、早出し産地としてのばれいしょや豆類等の野菜、レザーリーフファンやキク類等の花き、たんかんやマンゴーなどの果樹、米、茶、葉たばこ等の生産振興が図られている。

生産性の向上と農業経営の安定及び近代化を図るため、農地環境整備事業によるほ場整備のほか、農地整備事業（通作・畑網）による農道網の整備、農村地域防災減災事業による排水路整備等を実施した。

また、畑地帯総合整備事業で整備した畑地かんがい施設の老朽化による機能低下が見受けられるため、畑地帯総合整備事業により施設の補修・更新を実施している。

農業生産基盤の整備状況

(単位：ha, km, %)

区 分	ほ 場 整 備			農 道 整 備			畑地かんがい			かんがい排水		
	要整備 面積	整備済 面積	整備 率	要整備 延長	整備済 延長	整備 率	要整備 面積	整備済 面積	整備 率	要整備 面積	整備済 面積	整備 率
平成24年度末	7,100	3,761	53.0	1,400	903	64.5	3,800	888	23.4	1,730	739	42.7
令和4年度末	7,100	3,883	54.7	1,400	961	68.6	3,800	888	23.4	1,730	788	45.5

出典：市町村整備水準調査結果（令和5年3月31日現在）

イ 草地開発等

平成25～27年度にかけて種子島第2地区，平成28～令和3年度にかけて種子屋久第1地区，令和3～4年度にかけて種子屋久第2地区において，草地畜産基盤整備事業（県事業名：畜産基盤再編総合整備事業）を実施し，草地・飼料畑，畜舎等の造成整備を行い，自給飼料確保を図った。

ウ 造林

本地域の森林面積は，22,950haで，約9割が民有林，約1割が国有林である。

民有林については，スギ・ヒノキを主体とした人工林が約29%，広葉樹を主体とした天然林が約64%を占める。

これまで造成された人工林については，下刈・間伐等を実施し，地域内森林の水源かん養や山地災害防止等の機能の向上が図られた。

エ 漁港

種子島周辺海域は，トビウオ，キビナゴ等の好漁場に恵まれており，漁港及び関連施設の整備と相まって，水産業の振興は着実に進展している。

漁港については，漁業の拠点として，また避難港として重要な役割を果たしている住吉漁港（2種），浦田漁港（4種），熊野漁港（4種），庄司浦漁港（2種）の4港の県管理漁港のほか，種子島に13港の市町管理漁港があり，馬毛島に2港の市管理漁港がある。

漁港施設の老朽化とともに，更新を必要とする施設が増加していることから，熊野漁港で浮棧橋等の保全工事を実施しており，施設の長寿命化対策を推進している。

機能診断の結果，熊野漁港の物揚場等において，耐震，耐津波性能が不足していることが判明したため，物揚場等の改良工事を実施している。

住吉漁港では，荷揚げ及び荷下ろし作業の安全性の向上のため，防風策の整備を推進している。

主要漁港の整備状況

(単位：m, m²)

漁港名	管理者	平成24年度末				令和4年度末			
		けい留施設		泊地	防波堤	けい留施設		泊地	防波堤
		水深	延長			水深	延長		
能野	西之表市	+0.5	83	15,345	583.4	+0.5	83	15,345	566.6
		-1.0	43			-1.0	43		
		-1.5	90			-1.5	90		
		-2.0	100			-2.0	100		
花里崎	西之表市	-1.0	40	2,550	231.5	-1.0	40	2,550	231.5
湊	〃	-2.0	248.4	19,853	691.9	-2.0	248.4	19,853	691.9
沖ヶ浜田	〃	-1.5	18	5,413	251.6	-1.5	18	5,413	251.6
安城	〃	±0.0	35	3,494	148	±0.0	35	3,494	147.5
		-1.0	50			-1.0	50		
葉山	〃	-1.0	50	3,500	57	-1.0	50	3,500	57
		-1.5	40			-1.5	40		
高坊	〃	±1.3	40	1,958	170.5	+1.3	40	1,958	170.5
住吉	県	-2.0	334	26,773	379.8	-2.0	319	26,773	379.8
庄司浦	〃	-1.0	50	11,834	297.2	-1.0	50	11,834	297.2
		-1.5	75			-1.5	75		
浦田	〃	-2.0	274.3	26,375	433.1	-2.0	229.8	45,969	433.1
		-3.0	125			-3.0	125		
中山	中種子町	-2.0	30	4,030	253	-2.0	30	3,120	253
梶潟	〃	-1.0	70	2,673	258.6	-1.0	70	2,673	258.6
		-2.0	30			-2.0	30		
熊野	県	-2.0	345	81,603	617.9	-2.0	345	33,000	617.9
		-3.0	180			-3.0	180		
浜田	南種子町	-1.0	130	14,374	237.9	-1.0	130	14,374	237.9
		-2.0	75			-2.0	75		
竹崎	〃	-2.0	167.8	5,752	229.2	-2.0	167.8	8,432	229.2
下西目	〃	-1.0	58	2,179	334.2	-1.0	58	2,179	334.2
砂坂	〃	-2.0	136	8,790	437.6	-2.0	136	8,790	443.2
大川	〃	-2.0	75	8,315	324.2	-2.0	75	8,315	325.2
洲崎	〃	±0.0	17	3,670	226.7	±0.0	52	3,670	226.7
		-1.0	65			-1.0	30		

オ 漁場

本地域は黒潮の影響とその海底形状から回遊性魚類や瀬物類の他、イセエビ等の根付資源等、比較的高級魚を対象とした漁船漁業が古くから営まれている。しかし、近年は、資源の減少等で漁家経営は厳しい状況が継続している。

このため、水産資源や漁獲量の維持・増大を図るため、3箇所に合計18,470 空m³の魚礁を設置し、増殖場及び養殖場を整備するとともに、カツオやマグロなど回遊性魚類を対象とする浮魚礁1基を設置した。

(4) 生活環境施設の整備

ア 簡易水道

本地域における西之表市では、未普及地域を解消するため、平成27年度から令和元年度に西之表市武部

地区、深川地区、能野地区の水道施設の整備を行った。

また、西之表市の全ての簡易水道事業の上水道事業への統合に併せ、遠隔監視システムの整備や国上地区の老朽管の更新などの施設整備を行った。

中種子町では、中之町、向井町、戸畑、大塩屋地区において水質改善対策として平成26年度から29年度に中種子町簡易水道事業との事業統合に併せ水源新設などの統合整備を行った。

また、南種子町では、中央地区において平成26年度から平成30年度に水源枯渇及び水質悪化に対応するため、水源新設や浄水施設の整備などを行った。

イ 公園

総合的な市街地の整備による都市機能の充実の一環として、地域住民のスポーツ、レクリエーションの需要増大に対処するとともに、憩いの場の提供を図るために、都市公園事業を促進している。

なお、種子島地域全体の1人当たりの公園面積は、平成23年度末の30.4㎡/人から令和3年度末の35.5㎡/人となっている。

(5) 離島振興事業による投資実績（一括計上事業）（平成25年度～令和4年度）（単位：千円）

区 分	事業費	国 費	県 費	市町村費	そ の 他
河 川	3,071,354	1,502,228	1,569,126		
砂 防	1,085,892	525,936	559,956		
治 山	1,475,947	736,629	739,318		
港 湾 海 岸	100,216	54,472	34,976	10,768	
漁 港 海 岸	53,385	28,692	14,697	9,996	
道 路	10,240,968	6,873,502	2,228,598	1,138,868	
港 湾	10,053,126	7,229,870	2,534,574	288,682	
空 港	1,151,363	1,141,963	9,400		
水産基盤整備	2,398,286	1,382,412	952,907	62,967	
農業農村整備	12,101,446	6,870,049	3,444,773	1,447,080	339,544
造 林	1,381,950	418,214	214,413	133,195	616,128
林 道	2,710	1,355		1,355	
公 園	251,130	125,565		125,565	
廃棄物処理	1,447,705	764,414	112,306	565,705	5,280
簡易水道	1,652,706	826,353		826,353	
住 宅	1,026,474	300,477	170,477	555,520	
合 計	47,494,658	28,782,131	12,585,521	5,166,054	960,952

(6) 離島活性化交付金事業

本地域における事業の実施状況は、戦略産品の海上輸送費支援や特産品の販路拡大・ブランド化の推進、移住相談や移住体験ツアーの実施等の定住促進事業62件、離島留学の受入や観光PRの推進等の交流促進事業66件、防災拠点施設の機能強化やハザードマップの作成等の安全安心向上事業18件となっている。

実績額は次のとおりである。

離島活性化交付金事業による実績額（平成25年度～令和4年度）（単位：千円）

区 分	事業費	国 費	市町村費等
定 住 促 進 事 業	422,619	210,089	212,530
交 流 促 進 事 業	321,750	158,330	163,420
安 全 安 心 向 上 事 業	651,248	314,934	336,314
合 計	1,395,617	683,353	712,264

6 屋久島地域

(1) 国土保全施設の整備

ア 河川

屋久島の2級河川は、一湊川、永田川、栗生川、安房川等10河川があるが、そのほとんどの河川が急流を成し、年間平均降水量は平地で4,500mm（山間部は8,000～10,000mm）と雨量も非常に多く、洪水の危険も大きいため、緊急度の高い箇所から逐次、河川改修事業を実施してきた。

一湊川・栗生川・安房川・志戸子川は平成4年度までに、永田川は平成11年度までに改修を完了している。

市町村が管理する準用河川は、長間川、江之川（上屋久町）等があり、それぞれ平成14年度までに改修を完了している。

イ 砂防

屋久島は、宮之浦岳をはじめとして、急峻な山岳からなり、降雨量も多く、また、河川は短小急流なため土砂流出による災害が発生しやすく、被害も大きい。

このため、西之川、下川2等での通常砂防事業や熊太郎川、加治屋川等での総合流域防災事業（砂防）により、堰堤工、溪流保全工等を実施し、土砂災害の未然防止に努めた。

ウ 治山

本地域は、急峻な山岳からなり、降雨量も多いことから、荒廃山地と荒廃危険山地が多く、その整備が特に必要である。

このため、山地治山事業等を実施し、災害の未然防止に努めている。

エ 海岸保全

本地域は、外海に位置し、台風常襲地帯であり、加えて季節風による波浪も激しいことから、海岸事業の必要性が高い。

このため、背後地の保全目的に沿って、漁港海岸保全事業を実施している。

漁港海岸保全事業では、2漁港海岸において海岸保全施設の長寿命化計画を策定しており、平成30年度から口永良部漁港海岸において護岸の長寿命化対策を推進している。

(2) 交通基盤の整備

ア 道路

本地域は、海岸沿いに島全体を一周する主要地方道上屋久屋久線と上屋久永田屋久線の2路線、及び屋久島の主要観光地であるヤクスギランドと安房地区を結ぶ一般県道屋久島公園安房線、安房から安房港までを結ぶ一般県道安房港線、白谷雲水峡と宮之浦地区を結ぶ一般県道白谷雲水峡宮之浦線の3路線により道路網を形成している。

県道については、これまでの整備の結果、改良率は87.6%となっており県全体の改良率82.4%を上回っているが、屋久島の主要観光地であるヤクスギランドへ通じる屋久島公園安房線や白谷雲水峡へ通じる白谷雲水峡宮之浦線は、観光客の増加に伴う大型バスなどの交通量の増加に加え、急カーブや幅員狭小区間が多いため整備を進めているところである。

また、主要地方道上屋久永田屋久線は島内西部の永田～瀬切間（9.4km、旧西部林道）が未改良として残っているが、当区間は平成5年に世界自然遺産に登録された地域であり、その整備に当たっては、平成9年度に設置した屋久島一周道路整備検討委員会から提言をいただいた。検討委員会の提言を踏まえ、今後は維持管理を基本とし、必要最小限の範囲での防災対策を図ることとしており、世界自然遺産登録地にふさわしい道路整備に努めることとしている。

町道については、主な整備路線として、1級町道竹山線、1級町道中通線、その他町道鯛之川線等がある。集落間や県道、観光施設への連絡等生活に密接した道路としての整備を進め、隘路区間の解消を図っている。

道路現況（令和3年度末）

（単位：m，%）

区 分	実延長A	規格改良 済延長B	うち 5.5m以上C	改良率B/A	5.5m以上 改良率C/A	舗装延長D	舗装率 D/A
主要地方道	95,850	86,472	81,432	90.2	84.9	95,850	100.0
一般県道	25,929	20,233	18,031	78.0	69.5	25,929	100.0
県道計	121,779	106,705	99,463	87.6	81.6	121,779	100.0
市町村道	251,570	209,440	21,691	83.3	8.6	218,781	87.0
道路計	373,348	316,145	128,396	84.7	34.4	340,559	91.2

出典：令和4年度道路現況調査（令和4年4月1日現在）

イ 街路

良好・快適な都市環境を確保するため、都市の骨格をなす基幹施設である街路の整備に努めてきた結果、令和3年度末で、整備率が98.6%となっている。

ウ 港湾

本地域の港湾は、屋久島に県管理港湾の宮之浦港、安房港、栗生港、上屋久元浦港の4港と、町管理港湾の楠川港、中間港等8港、また、口永良部島に町管理港湾の湯向港と岩屋泊港の2港がある。

宮之浦港は、屋久島の玄関港として昭和32年度から改修事業を実施し、大型化する定期船、貨物船の接岸する岸壁等が完成したが、世界自然遺産登録後、特に増加した観光客や取扱貨物量に対処するため、ふ頭用地の拡幅等の整備を進め、平成18年度に完成し、供用開始している。令和3年度に防波堤（東）の整備が完了し、引き続き港内静穏度向上を図るため、防波堤の整備や施設の老朽化対策等を進めている。

安房港は、古くから屋久島の中心港で昭和28年度から改修事業に着工し、岸壁、浮棧橋、物揚場等が整備された。現在は、港内静穏度向上のため、引き続き防波堤の整備や施設の老朽化対策等を進めている。

主な港湾の整備状況

（単位：m）

島名	港湾名	種別 管理者	平成24年度末						令和4年度末					
			岸壁		物揚場		防波堤	接岸能力及び パース数	岸壁		物揚場		防波堤	接岸能力及び パース数
			水深	延長	水深	延長			水深	延長	水深	延長		
屋久島	宮之浦	地方 県	-7.5	430	-	-	1,284	15,000G/T 1B 5,000D/W 1B 2,000D/W 3B	-7.5	430	-	-	1,334	15,000G/T 1B 5,000D/W 1B 2,000D/W 3B
			-5.5	260	-2.5	50			-2.0	512	-5.5	260		
安房	地方 県	地方 県	-7.5	181	-4.0	389	1,971	5,000D/W 1B 2,000D/W 2B	-7.5	181	-4.0	389	2,041	5,000D/W 1B 2,000D/W 2B
			-5.5	170	-2.0	427			-5.5	170	-2.0	427		

（注）物揚場-2.0の数値は、-2.0m以浅

エ 空港

屋久島空港は昭和38年7月に滑走路1,100mで供用開始し、その後、滑走路延長整備がなされ、昭和51年12月に現在の滑走路長である1,500mの滑走路を有する空港として供用を開始した。平成13年からはYS11型機の後継機DASH8-400型機対策として、滑走路等の舗装強度を変更し、平成16年5月に供用を開始した。現在は、ジェット機の就航を可能とするため、滑走路長を2,000mに延伸する取組を行っている。

現在、屋久島～鹿児島に1日6往復、屋久島～大阪に1日1往復、屋久島～福岡に1日1往復が運航されている。

(3) 産業基盤の整備

ア 農業農村整備

本地域は山地が大部分を占めており、耕地が海岸沿いに分散しているが、温暖な気候を生かして、ぼんかん、たんかん等の果樹を中心に、ばれいしょ等の野菜、ドラセナやシンビジウム等の施設花き、茶等の生産振興が図られている。

畑地帯総合整備事業等によりほ場整備や畑地かんがい等の整備を行っており、生産性の向上と農業経営の安定を図ることとしている。

また、中山間地域総合整備事業により生産基盤及び環境施設等の総合的な整備を行っているほか、農地整備事業（通作・保全）により農道の長寿命化対策を実施している。

農業生産基盤の整備状況

(単位：ha, km, %)

区 分	ほ 場 整 備			農 道 整 備			畑地かんがい			かんがい排水		
	要整備 面積	整備済 面積	整備 率	要整備 延長	整備済 延長	整備 率	要整備 面積	整備済 面積	整備 率	要整備 面積	整備済 面積	整備 率
平成24年度末	500	233	46.5	300	242	80.7	800	505	63.2	180	180	100
令和4年度末	500	233	46.6	300	242	80.7	800	649	81.2	180	180	100

出典：市町村整備水準調査結果（令和5年3月31日現在）

イ 草地開発等

本地域は、気候が温暖で牧草の生育に適し、肉用牛生産が定着している。

平成28～29年度にかけて種子屋久第1地区において、草地畜産基盤整備事業（県事業名：畜産基盤再編総合整備事業）を実施し、草地・飼料畑、畜舎等の造成整備を行い、自給飼料確保を図った。

ウ 造林

本地域の森林面積は48,567haで、約2割が民有林、約8割が国有林である。

民有林については、スギを主体とした人工林が約26%、広葉樹を主体とした天然林が約59%を占める。

これまで造成された人工林については、下刈・間伐等を実施したほか、広葉樹を主体とした天然林については、複層林改良を実施し、地域内森林の水源かん養や山地災害防止等の機能の向上が図られた。

エ 林道

本地域の林道は、多面的機能を有する森林の適切な整備及び保全を図り、効率的かつ安定的林業経営を確立するために必要であり、地域住民の通行や物資の運搬、森林へのアクセス確保など生活環境の改善を図るうえでも重要である。

このため、森林管理道屋久島北部線などを4,856m開設し、計画的に林道網を整備した。

当地域における林道の整備状況は、令和4年度末で開設延長91,277m、林道密度9.1m/haとなった。

オ 漁港

屋久島周辺海域は、トビウオ、サバ、カツオ等の好漁場であり、漁港及び関連施設等との整備と相まって、近年、沖合漁場へ進出する5トン以上の漁船も増加している。

漁港については、4種漁港として一湊漁港及び口永良部漁港があり、このほか栗生漁港等の町管理の1種漁港が6港ある。

口永良部漁港は、沿岸漁業の避難港及び定期船寄港港として利用されており、平成26年度までに漁船や定期船における係留時の安全性向上を図る防波堤の整備を完了し、平成28年度に港内への漂砂流入を防ぐ防砂堤の整備を行った。また、物揚場等の耐津波性能が不足していることが判明したため、令和2年度より改良工事を実施している。

漁港施設の老朽化とともに、更新を必要とする施設が増加していることから、口永良部漁港ほか2漁港で防波堤や泊地等の保全工事を行っており、施設の長寿命化対策を推進している。

主要漁港の整備状況

(単位：m, m²)

漁港名	管 理	平成 24 年度 末				令 和 4 年 度 末			
		けい留施設		泊 地	防波堤	けい留施設		泊 地	防波堤
		水 深	延 長			水 深	延 長		
志 戸 子	上屋久町	-1.5	104.5	17,901	446.8	-1.5	104.5	17,901	501.8
		-2.0	50			-2.0	50		
		-2.5	120			-2.5	120		
小 瀬 田	〃	-1.5	47	2,635	226.1	-1.5	47	2,635	226.1
吉 田	〃	-1.5	18	1,977	220.0	-1.5	18	1,977	220.0
口永良部	県	-0.5	48.3	5,065	858.9	-0.5	48.3	30,600	855.9
		-2.0	150			-2.0	167.6		
一 湊	〃	-2.0	505	19,110	455	-2.0	505	29,900	455
		-4.0	90			-4.0	90		
麦 生	屋久町	-2.0	125	8,290	538.6	-2.0	125	8,290	538.6
原	〃	-2.0	115	6,920	512.5	-2.0	115	6,920	512.5
		-3.0	40			-3.0	40		
栗 生	〃	-2.0	475	37,806	630	-2.0	475	37,806	660

カ 漁場

本地域は黒潮の影響とその海底形状から回遊性魚類や瀬物類の他、イセエビ等の根付資源等、比較的高級魚を対象とした漁船漁業が古くから営まれている。しかし、近年は、資源の減少等で漁家経営は厳しい状況が継続している。

このため、水産資源や漁獲量の維持・増大を図るため、2箇所合計15,044 空m³の魚礁を設置し、増殖場を整備するとともに、カツオやマグロなど回遊性魚類を対象とする浮魚礁1基を設置した。

(4) 生活環境施設の整備

ア 簡易水道

本地域では、屋久島町南部地区の水源枯渇及び水質悪化に対応するため、平成23年度から令和元年度に水源新設や浄水施設などの整備を行った。

また、西部地区は、平成28年度から29年度に、口永良部地区は令和元年度から令和2年度に浄水施設の老朽化に伴う施設の更新を行った。

イ 公園

これまで、若宮公園、安房墓園の整備につとめ、平成9年度から屋久島町（旧屋久町）の屋久島町健康の森公園の整備促進に努めてきたところ平成24年度に完成した。

なお、屋久島地域全体の1人当たりの公園面積は、平成23年度末の27.4㎡/人から令和3年度末の35.7㎡/人となっている。

(5) 離島振興事業による投資実績（一括計上事業）（平成25年度～令和4年度）（単位：千円）

区 分	事業費	国 費	県 費	市町村費	そ の 他
河 川	468,908	222,665	246,243		
砂 防	1,238,548	602,193	636,355		
治 山	779,827	401,313	378,514		
港 湾 海 岸	9,180	5,049		4,131	
漁 港 海 岸	421,451	224,411	160,974	36,066	
道 路	5,387,136	3,708,213	1,427,981	250,942	
港 湾	5,178,141	3,706,933	1,315,760	155,448	
空 港	733,876	677,226	56,650		
水産基盤整備	3,194,737	2,467,791	535,303	191,643	
農業農村整備	3,401,034	1,945,854	927,117	489,362	38,701
造 林	2,177,121	653,137	329,393		1,194,591
林 道	2,097,902	1,015,120	1,070,809	11,973	
廃棄物処理	277,752	130,751	48,536	98,465	
簡易水道	1,025,496	512,748		512,748	
住 宅	231,389	81,784		149,605	
合 計	26,622,499	16,355,188	7,133,636	1,900,383	1,233,292

(6) 離島活性化交付金事業

本地域における事業の実施状況は、戦略産品の海上輸送費支援の定住促進事業9件、離島留学の受入や観光PRの推進等の交流促進事業25件、防災拠点施設の機能強化やハザードマップの作成等の安全安心向上事業17件となっている。

実績額は次のとおりである。

離島活性化交付金事業による実績額（平成25年度～令和4年度）（単位：千円）

区 分	事業費	国 費	市町村費等
定 住 促 進 事 業	570,797	310,651	260,146
交 流 促 進 事 業	110,966	55,284	55,682
安 全 安 心 向 上 事 業	624,649	306,986	317,663
合 計	1,306,412	672,921	633,491

(7) 特定離島ふるさとおこし推進事業

本地域における特定離島ふるさとおこし推進事業については、口永良部島が対象地域となっている。事業の実施状況は、農道整備、公共用観光施設整備の産業の振興9件、道路環境整備、教育環境施設整備、防災情報施設整備、定住促進住宅整備等の生活基盤の整備14件、南海ひょうたん島留学（離島留学）等のみんなの参加・島づくり対策11件となっている。

実績額は、次のとおりである。

特定離島ふるさとおこし推進事業による実績額（平成25年度～令和4年度）（単位：千円）

区 分	事 業 費	県 費	市 町 村 費	そ の 他
産 業 の 振 興	130,540	104,432	26,108	0
生 活 基 盤 の 整 備	167,623	133,874	33,749	0
みんなの参加・島づくり対策	27,967	19,473	8,494	0
合 計	326,130	257,779	68,351	0

7 南西諸島地域

(1) 国土保全施設の整備

ア 砂防

口之島は安山岩質から構成され、険しい山々が連なり、数千年前の火山噴出物が堆積しており、土砂流出等による災害が発生しやすい。

このため、総合流域防災事業（地すべり）により集水ボーリング工やアンカー工等を実施し、土砂災害の未然防止に努めた。

イ 治山

本地域は、台風の常襲地帯であり、火山活動等厳しい自然条件から治山施設の整備が必要であるため、山地治山事業を実施し、災害の未然防止に努めている。

ウ 海岸保全

本地域の大半の島は、地形的条件から集落、耕地等は海岸沿いに開けている。

また、外海に位置し、台風常襲地帯であり、加えて季節風による波浪も激しいことから、海岸事業の必要性が高い。

このため、背後地の保全目的に沿って港湾海岸事業を実施している。

港湾海岸事業では、中之島港海岸において、海岸堤防等老朽化対策緊急事業により、防潮堤（改良）を整備中である。

(2) 交通基盤の整備

ア 道路

本地域の県道については、黒島に唯一片泊大里港線があるのみであり、黒島の生活道路となっている。

県道片泊大里港線は、これまでの整備の結果、改良率は91.1%となっており県全体の改良率83.0%を上回っているが、5.5m以上の改良率は 26.0%と低い水準にある。

村道については、主な路線として、三島村が1級村道竹島線、十島村が1級村道中之島海岸線等がある。改良率は、三島村が79.3%、十島村が74.8%である。各島ともほぼ1島1集落の形態であることから、集落内や集落と港を結ぶ路線を主体として、村事業により整備を進めている。

道路現況（令和3年度末）

（単位：m，%）

区 分	実延長 A	規格改良 済延長 B	うち 5.5m以上 C	改良率B/A	5.5m以上 改良率C/A	舗装延長 D	舗装率 D/A
一般県道	8,994	8,192	2,343	91.1	26.0	8,994	100.0
市町村道	174,912	132,971	6,447	76.0	3.6	162,549	92.9
道 路 計	183,935	141,168	8,790	76.7	4.7	171,543	93.2

出典：令和4年度道路現況調書(令和4年4月1日現在)

イ 港湾

南西諸島地域の港湾は、県管理港湾として硫黄島港、中之島港の2港、村管理港湾として竹島港、大里港、片泊港、七ツ山港、切石港、南之浜港、東之浜港、前之浜港、元浦港、やすら浜港、小宝島港、宝島港の12港がある。各港は、島民の生活港湾として、あるいは、漁業の拠点として重要な位置を占めており、定期船就航率向上のため改修事業により防波堤等の整備及び、港湾施設の適正な維持管理のための老朽化対策を進めている。

主な港湾の整備状況

(単位：m)

島名	港湾名	種別 管理者	平成24年度末					令和4年度末						
			岸壁		物揚場		防波堤	接岸能力及び びバース数	岸壁		物揚場		防波堤	接岸能力及び びバース数
			水深	延長	水深	延長			水深	延長	水深	延長		
竹島	竹島	地方 三島村	-5.5	120	-2.0	50	694	2,000D/W 1B	-5.5	120	-2.0	50	780	2,000D/W 1B
硫黄島	硫黄島	地方 県	-5.5	120	-3.0	65	437	2,000D/W 1B	-5.5	120	-3.0	65	437	2,000D/W 1B
黒島	大里	地方 三島村	-5.5	120	-2.0	50	705	2,000D/W 1B	-5.5	120	-2.0	50	705	2,000D/W 1B
中之島	中之島	地方 県	-5.5	120	-2.0	110	400	2,000D/W 1B 700D/W 1B	-5.5	120	-2.0	110	400	2,000D/W 1B 700D/W 1B
諏訪之瀬島	切石	地方 十島村	-	-	-2.0	80	614		-	-	-2.0	80	614	
平島	南之浜	地方 十島村	-	-	-2.0	161	591		-	-	-2.0	161	591	
悪石島	やすら浜	地方 十島村			-2.0	68	508				-2.0	68	508	
小宝島	小宝島	地方 十島村	-	-	-	-	407		-	-	-	-	427	
宝島	宝島	地方 十島村	-	-	-	-	259		-	-	-	-	259	

(注) 物揚場-2.0の数値は、-2.0m以浅

(3) 産業基盤の整備

ア 農業農村整備

本地域は、孤立した小さな離島で構成され、平地に乏しく、耕地は狭く、急峻で、若年層の流出による農家の高齢化が進んでいる。

十島村の口之島、中之島、諏訪之瀬島、平島、悪石島、小宝島及び宝島においては、農村振興総合整備事業により集落道路や法面保護工などの生活環境整備を行った。

農業生産基盤の整備状況

(単位：ha, km, %)

区分	ほ場整備			農道整備			畑地かんがい			かんがい排水		
	要整備 面積	整備済 面積	整備 率	要整備 延長	整備済 延長	整備 率	要整備 面積	整備済 面積	整備 率	要整備 面積	整備済 面積	整備 率
平成24年度末	28	11	39.3	96	43	44.8	5	0	0	12	8	66.7
令和4年度末	28	11	39.3	96	43	44.8	5	0	0	12	8	66.7

出典：市町村整備水準調査結果（令和5年3月31日現在）

イ 草地開発等

本地域は、温暖な気候であることから牧草の生育に適しており、肉用牛の周年放牧による肉用牛生産が定着している。

自給飼料の増産を図るため、平成24～29年度にかけて三島地区、令和元～4年度にかけて三島第2地区、令和2～4年度にかけて十島地区において、草地畜産基盤整備事業（県事業名：畜産基盤再編総合整備事業）を実施し、草地・飼料畑、畜舎等の造成整備を行い自給飼料確保を図った。

ウ 林道

本地域の林道は、多面的機能を有する森林の適切な整備及び保全を図り、効率的かつ安定的林業経営を確立するために必要であり、たけのこ等の特用林産物の振興を通じた地域の活性化を図るうえでも重要である。

このため、既設林道の機能向上を図るため、法面改良事業や舗装事業を積極的に実施した。

当地域における林道の舗装状況は、令和4年度末で舗装延長46,513m、舗装達成率71.8%となった。

エ 漁港

本地域の周辺海域は好漁場に恵まれているが、外海の近海区域であるため、操業には大規模な漁船装備を要すること、流通面が確立されていない等の問題がある。しかしながら、製氷冷蔵施設の整備等流通基盤の改善も進みつつあり、今後、水産業の発展も期待できることから、その拠点として、また、避難港として漁港は重要な役割を持っている。

現在、口之島に西之浜漁港（4種）、宝島に前籠漁港（4種）、小宝島に城之前漁港（1種）の3漁港があり、それぞれ漁業拠点あるいは島の門戸として活用されている。

西之浜漁港は十島村最北端の口之島に、前籠漁港は十島村最南端の宝島にあり、ともに避難港及び定期船寄港港となっている。両漁港とも冬季季節風及び台風時の波浪の影響が強いことから、港内の静穏度向上を図るべく沖防波堤の新設及び既設防波堤の改良を進め、平成28年度に前籠漁港、平成29年度に西之浜漁港の整備が完了した。

漁港施設の老朽化とともに、更新を必要とする施設が増加していることから、西之浜漁港、前籠漁港で防波堤や岸壁等の保全工事を進め、令和4年度に完了した。

機能診断の結果、西之浜漁港及び前籠漁港において岸壁等の耐震性能が不足していることが判明したため、改良工事を実施している。

主要漁港の整備状況

(単位 m, m²)

島名	漁港名	管理者	平成24年度末				令和4年度末			
			けい留施設		泊地	防波堤	けい留施設		泊地	防波堤
			水深	延長			水深	延長		
小宝島	城之前	十島村	-1.0	15	8,074	248	-1.0	15	8,074	248
			-2.0	95			-2.0	95		
口之島	西之浜	県	-1.0	14	63,337	852.1	-1.0	14	63,757	852.1
			-2.0	75			-2.0	75		
			-3.0	230			-3.0	230		
			-4.5	60			-4.5	60		
			-5.5	120			-5.5	120		
宝島	前籠	県	-3.0	200	69,967	944.4	-3.0	200	69,483	1019.4
			-4.5	60			-4.5	60		
			-5.5	120			-5.5	120		

(4) 生活環境施設の整備

ア 簡易水道

本地域における三島村では、大里地区と片泊地区において、事業統合に併せ平成26年度から令和元年度に水質改善及び老朽化施設対策として、浄水施設及び老朽管の更新等を行った。

十島村では、施設の老朽化に伴う漏水等を解消するため、平成29年度から平島地区や悪石島地区等の老朽施設の更新を進めている。

イ 廃棄物処理

ごみ処理については、以下の表のとおり小型焼却炉を整備した。

小型焼却炉	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4
三島村					1		1		1	
十島村				2	1	1	1	1	1	

(5) 離島振興事業による投資実績（一括計上事業）（平成25年度～令和4年度）（単位：千円）

区 分	事業費	国 費	県 費	市町村費	そ の 他
河 川	115,676	54,819	60,857		
砂 防	177,095	87,900	87,695	1,500	
治 山	635,301	349,415	285,886		
港 湾 海 岸	182,835	95,205	73,724	13,906	
道 路	3,063,127	2,182,497	145,729	734,901	
港 湾	8,544,270	6,680,351	103,293	1,760,626	
水産基盤整備	4,865,957	3,945,713	918,592	1,652	
農業農村整備	1,904,795	911,501	565,466	340,778	87,050
林 道	980,311	421,163	368,648	190,500	
廃棄物処理	9,361	4,077	1,639	3,645	
簡易水道	958,920	479,460		479,460	
合 計	21,437,648	15,212,101	2,611,529	3,526,968	87,050

(6) 離島活性化交付金事業

本地域における事業の実施状況は、定住促進のための空き家改修や製氷施設・荷役作業用車両の整備等の流通効率化関連施設の整備、戦略産品の海上輸送費支援等の定住促進事業54件、離島留学の受入や観光PRの推進等の交流促進事業15件、防災拠点施設の機能強化等の安全安心向上事業18件となっている。

実績額は次のとおりである。

離島活性化交付金事業による実績額（平成25年度～令和4年度）（単位：千円）

区 分	事業費	国 費	市町村費等
定 住 促 進 事 業	499,076	247,297	251,779
交 流 促 進 事 業	156,291	78,866	77,425
安 全 安 心 向 上 事 業	564,806	282,403	282,403
合 計	1,220,173	608,566	611,607

(7) 特定離島ふるさとおこし推進事業

本地域における特定離島ふるさとおこし推進事業の実施状況は、県有牛貸付、牧道整備、畜産振興施設整備等の産業の振興98件、定住促進住宅、道路整備、港湾施設整備、給油所や共同販売所の整備等の生活基盤の整備123件、国際交流事業やトカラツーリズム等の各種イベント開催、観光カレンダーやパンフレット製作、地元産物のPR等の観光物産宣伝対策、離島留学等のみんなの参加・島づくり対策154件を実施している。

実績額は次のとおりである。

特定離島ふるさとおこし推進事業による投資実績（平成25年度～令和4年度）（単位：千円）

区 分	事 業 費	県 費	市 町 村 費	そ の 他
産 業 の 振 興	1,700,613	1,314,253	386,360	0
生 活 基 盤 の 整 備	2,811,754	2,181,332	630,422	0
みんなの参加島づくり対策	849,812	587,126	262,163	523
合 計	5,362,179	4,082,711	1,278,945	523